

<b>プロチオホス乳剤</b> <b>トクチオン乳剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> サンケイ＊、ホクサン、 アリスタ LS、一農、琉産 <b>原体メーカー：</b> アリスタ LS
<b>成分：</b> プロチオホス〔有機リン系 PRTR・1種〕………45.0% <b>その他 PRTR 該当成分：</b> キシレン〔PRTR・1種〕………18.8% エチルベンゼン〔PRTR・1種〕………17.6%	<b>性状：</b> 淡黄褐色可乳化油状液体 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> 第4類・第2石油類（非水溶性）・危険等級Ⅲ

### 【品目特性】 ……………

●野菜、果樹、花木など多くの作物のチョウ目害虫（ヨトウムシ類、コナガ、ハマキムシ類）、アブラムシ類、カイガラムシ類、アザミウマ類に優れた殺虫力を持つ。

●接触毒と食毒の作用を持ち、効果の発現は、やや遅効的だが、優れた殺虫力を発揮し、比較的残効性がある。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】 ……………

●ボルドー液及び石灰硫黄合剤との混用は可能であるが、混合後は速やかに散布する。

●本剤の作用はやや遅効性であるので害虫の発生を見たら早めに散布する。

●芝に使用する場合は、土壌面まで濡れるように十分な液量（1m<sup>2</sup>当り0.5～1ℓ）を散布する。

●茶のカンザワハダニの防除の場合、夏場からのハマキムシ類との防除適期が一致する時期に使用する。

●さとうきびのハリガネムシ防除に使用する場合、夏植栽培では翌年の4～6月頃、株出栽培では萌芽後に所定希釈液を1m<sup>2</sup>当り約1.8ℓ灌注する。

●フラーバラゾウムシに使用する場合には植物防疫所、病害虫防除所など関係機関の指導のもとに実施する。

### 【薬効・薬害等の注意】 ……………

●適用外作物（すいか、トマト、メロン）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●茶の覆下栽培では薬害を生じるので使用しない。

●ミカン園の周辺にネーブルオレンジがある場合は、樹勢の悪い樹に薬害を生じることがあるのでかからないように注意する。

### 【安全対策上の注意】 ……………

●自動車に散布液がかかると変色するおそれがあるので散布液がかからないように注意する。



【適用と使用法】 .....

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	プロチオホスを含む 農薬の総使用回数
み か ん	フジコナカイガラムシ	1000～ 1500倍	200～ 700 ℓ	30 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
	コカクモンハマキ フラーバラゾウムシ	1000倍		60 日前 まで	5 回 以内		5 回以内
な し	コナカイガラムシ類 ハマキムシ類			75 日前 まで	2 回 以内		2 回以内
か き	カキノヘタムシガ フジコナカイガラムシ マイマイガ アザミウマ類 ハマキムシ類			裂果前まで (但し、収穫 7 日前まで)	5 回 以内		5 回以内
く り	モモノゴマダラノメイガ ネスジキノカワガ	1000倍	100～ 300 ℓ	21 日前 まで	2 回 以内	株元 灌注	2 回以内
キ ャ ベ ツ	コナガ ヨトウムシ ハスモンヨトウ アオムシ ウワバ類 アブラムシ類	300倍		7 日前 まで	4 回 以内		4 回以内
た ま ね ぎ	アザミウマ類	1000倍		7 日前 まで	3 回 以内		3 回以内
ね ぎ	ネダニ類	2000倍			60 日前 まで		1 回
ら つ き ょ う	ネダニ類	2000倍	3 ℓ /m <sup>2</sup>	60 日前 まで	1 回	株元 灌注	1 回
に ん に く	ネギコガ チューリップサビダニ	1000倍	100～ 300 ℓ	14 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
ば れ い し ょ	ジャガイモガ ヨトウムシ アブラムシ類			21 日前 まで	4 回以内 (植付前の土壌 混和は1回以内、 散布は3回以内)		
か ん し ょ	ハスモンヨトウ			1000～ 2000倍	2 回以内		2 回以内
あ ず き	アズキノメイガ ハダニ類 ツメクサガ	1000倍		30 日前 まで	3 回 以内		3 回以内
だ い ず	マメシンクイガ ハダニ類	1000～ 1500倍	1000倍	30 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内
	シロイチモジマダラメイガ ハスモンヨトウ アブラムシ類 ツメクサガ カメムシ類						

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	プロチオホスを含む 農薬の総使用回数
て ん さ い	ヨトウムシ カメノコハムシ アブラムシ類	1000～ 1500倍	100～ 300 ℓ	30 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
	テンサイモグリハナバエ テンサイトビハムシ ハダニ類						
茶	ハマキムシ類 チャノキイロアザミウマ カンザワハダニ チャドクガ	1000倍	200～ 400 ℓ	摘採 21 日前 まで	1 回		1 回
さ と う き び	アオドウガネ ハリガネムシ類		1.8 ℓ /m <sup>2</sup>	90 日前 まで	2 回 以内	土壌 灌注	2 回以内 (植付時の 土壌混和は 1 回以内)
に ら	ネダニ類	2000倍	3 ℓ /m <sup>2</sup>	21 日前 まで	1 回	株元 灌注	2 回以内 (土壌混和は 1 回以内, 株 元灌注は 1 回 以内)
い ち ご	ハダニ類 キンケクチブトゾウムシ 成虫	1000倍	100～ 300 ℓ	75 日前 まで	3 回 以内	散布	3 回以内 (仮植床植付 時の土壌混和 は 1 回以内)
花き類・観葉植物 (ばら, きく, プリムラ, シクラメン, ペゴニア, 宿根かすみそう を除く)	アザミウマ類 ハダニ類			発生初期	5 回 以内		5 回以内
ば ら ぎ く	アブラムシ類 フラーバラゾウムシ アザミウマ類 ハダニ類						
プ リ ム ラ シ ク ラ メ ン ペ ゴ ニ ア	キンケクチブトゾウムシ 成虫 アザミウマ類 ハダニ類						
つ ば き 類	チャドクガ フラーバラゾウムシ						
さ く ら プ ラ タ ナ ス	アメリカシロヒトリ フラーバラゾウムシ						
宿 根 か す み そ う	ヨトウムシ ナスハモグリバエ アザミウマ類 ハダニ類		100～ 300 ℓ	6 回 以内	6 回以内		
樹 木 類 (つばき類, さくら, プラタナスを除く)	フラーバラゾウムシ		200～ 700 ℓ	5 回 以内	5 回以内		

作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤の 使用回数	使用 方法	プロチオホスを含む 農業の総使用回数
た    ば    こ	タバコアオムシ ヨトウムシ アブラムシ類 ジャガイモガ アザミウマ類	1000倍	25～ 180 ℓ	10 日前 まで	2 回 以内	散布	2 回以内
芝	シバツトガ		0.5～ 1 ℓ /m <sup>2</sup>	発生初期	3 回 以内		5 回以内